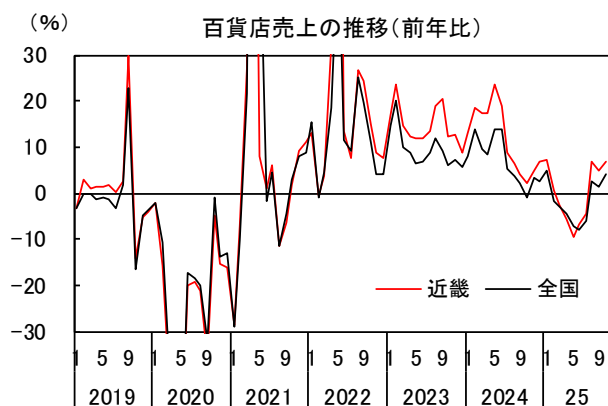
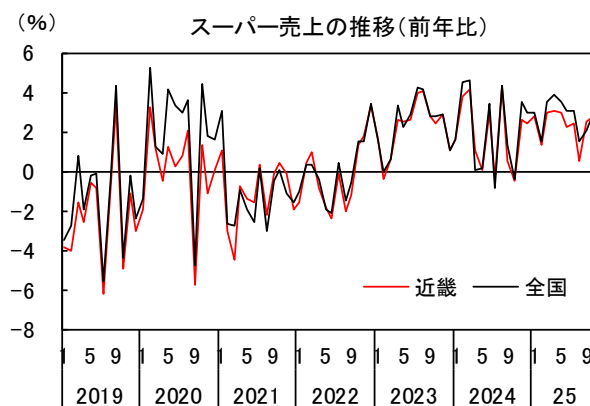


関西の景気トピックス【消費関連（25 年 10 月）】

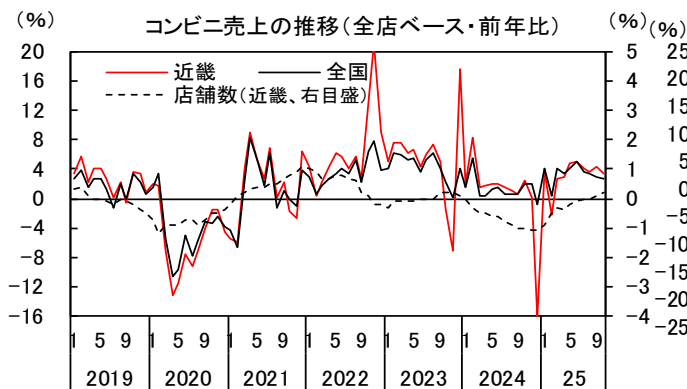
- 25 年 10 月の百貨店売上（経済産業省）は前年比プラス 7.1%と 3 か月連続の増加となった。前年が円高の進行等で訪日客消費が鈍化したため、その反動増が一因とみられる。一方、スーパー売上の 10 月は前年比プラス 2.8%と、米価格や食料品価格の高騰などを背景に、売上が前年を上回る動きが続いている。
- コンビニ売上（経済産業省）は、10 月は全店ベースで前年比プラス 3.4%と 8 か月連続の増加となった。商品価格の値上げの影響に加え、インバウンド客の増加などもあり、売上の堅調な推移が続いている。
- 住宅着工戸数（国土交通省）の 9 月は、前年比マイナス 7.1%と 5 か月連続の減少となった（3 か月移動平均）。4 月からの改正省エネ法導入の影響が大きいとみられ、前年を大きく下回る動きが続いている。
- 一部で売上が前年を上回る動きはあるが、値上げの影響が大きく、需要の強さを示すものとは言い切れない。住宅着工の前年割れも気掛かりであり、消費の基調は依然として楽観できない状況である。



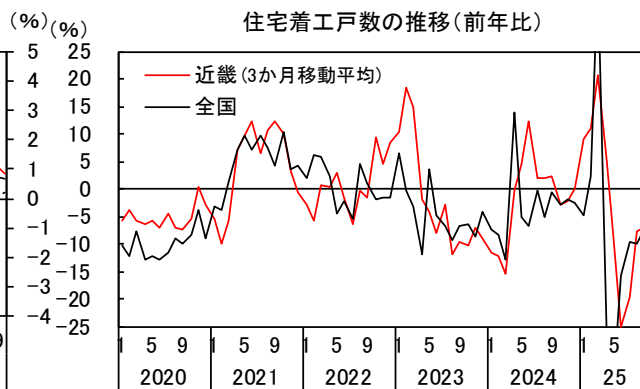
(出所)経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所)経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所)経済産業省



(出所)国土交通省「建築着工統計」